

## 2020-2021年度国際ロータリー第2720地区

# 大分第3グループ Intercity Meeting

## 開催趣旨説明

大分第三グループガバナー補佐 臼杵 徳二

とき：2021年6月19日（土）

ところ：ホテル&リゾート別府湾  
ホスト：日出RC

### 1. コロナ禍でのIM

RI第2720地区第3グループのIM（Intercity Meeting）は、今回、新型コロナウイルス感染症の猛威が収まらないことに鑑み、従来のIMとは異なり、三つの密を回避するため、各RC（ロータリークラブ）の会員すべてに参加していただくのではなく、最小限の人数だけが日出RCの例会場等に集合し、その他の会員は、各RCの例会場等に集合してZoomでのリモート参加をしていただくという方式を採用せざるをえなくなりました。

具体的には、ホストである日出RCの例会場には、硯川ガバナー、高山パストガバナー、臼杵ガバナー補佐、藤本ガバナー補佐エレクト、6RCの新旧会長・幹事、新旧青少年奉仕委員会の委員長、基調報告をいただく児童家庭支援センター「ゆずりは」の垣迫弘美センター長、井出彩記子・心理士のみに参加していただきます。そして、それ以外の6RCの会員は、各RCの例会場に少人数で参集していただき、日出RCの会場の模様をZoomで視聴したり、ご意見を発信したりしていただくという、いわゆる、リアルとリモートのハイブリッド方式で開催させていただきたく存じます。

このハイブリッド方式については、ホストである日出RCは、豊富な経験を有しており、この点について、まず、会員の皆様にご理解いただきたく存じます。

### 2. コロナ禍のテーマとしての子どもの貧困

次に、今回のIMのテーマとしては、新型コロナウイルス禍の最も深刻な被害者である貧困世帯の子どもたちであったことを考慮して、今回のIMのテーマを「青少年奉仕活動としての子ども食堂・キッチンカーの運営・支援」といたしました。

そして、第1部では、児童家庭支援センター「ゆずりは」の垣迫弘美センター長に基調報告をしていただきます。基調報告をいただく垣迫弘美センター長と臼杵ガバナー補佐とは、10年ほどのご縁があり、かつ、垣迫センター長は、子どもの貧困に関するエキスパートであり、今回のIMの基調報告をいただけることについて、感謝しております。

この基調報告を受けて、第2部では、各RCのクラブの子ども食堂の実態、および、子ども食堂への支援のプラン等について、各RCの有する情報を交換することを通じて、青少年奉仕活動の新しい試みに貢献できるのではないかと考えています。

各RC間の情報交換を通じて、青少年奉仕のあり方について集合知を形成するためにも、青少年奉仕委員会の委員長の方々には、1~2枚のスライドを用意してご報告いただけると幸いです。

今回のIMにおいては、RI第2720地区大分第3グループのRCを橋渡しするためにも、各RCの会員の皆様の意思を最大限に尊重することを考え、今回のIMの運営、および、今後の青少年奉仕活動の運営に活かしたいと思っております。

このIMに参加していただける皆様には、以上の趣旨をご賢察の上、IMの運営にご協力いただきますよう、切にお願いする次第であります。